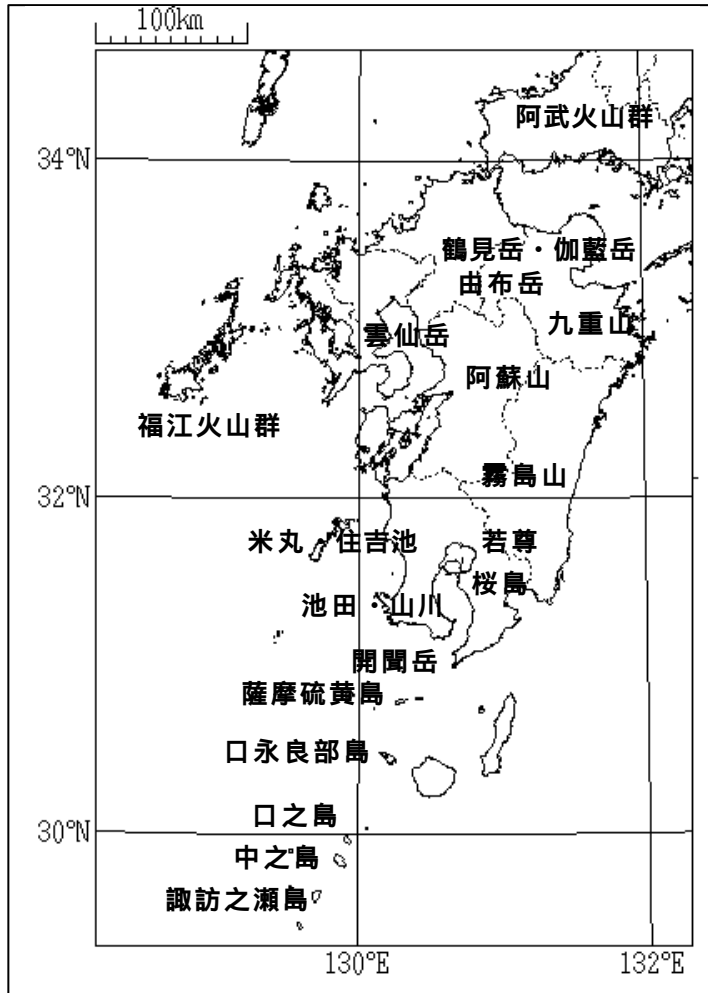


九州地方の火山活動解説資料(平成 16 年 7 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

山口・九州地方の火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

：桜島(火山活動度レベル 2)

南岳の噴火活動は比較的静穏でした。月間の噴火は1回で、爆発的噴火でした。火山性地震は少ない状態で経過しました。

：諏訪之瀬島

1日と5日に噴火が発生し、火山活動は一時的に活発になりました。

その他の期間は噴火がなく、火山性地震と火山性微動の発生も比較的少なく、静穏な状態で経過しました。

：阿蘇山(火山活動度レベル 2)

火山活動は、やや活発な状態が続きました。

中岳第一火口の湯だまりの量は、期間をとおり約3割の状態が続きました。湯だまり内では高さ5m程度の小規模な土砂噴出が発生しています。湯だまりの温度は65~75度で、依然高い状態が続きました。

孤立型微動は7月に入り増加し、日に23~188回でした。また、火山性連続微動は5月13日以降継続しています。

：霧島山

御鉢火口の噴気活動は、時折火口縁上に噴気が上がるなど、依然やや活発な状態が続いています。噴気高度の最高は26日の火口縁上200mでした。9日に継続時間1分で振幅

の小さい火山性微動が発生しました。火山性地震は少ない状態で経過しました。

新燃岳の火山活動は静穏で、火山性地震は少ない状態で経過しました。

：薩摩硫黄島

噴火はなく、火山活動は静穏でした。噴煙は白色・少量で、高さの最高は800mでした。火山性地震は総じて少なく、火山性連続微動が1日に発生しました。

：口永良部島

火山性地震はやや少ない状態で経過しましたが、3日に火山性微動が発生するなど、火山活動はやや活発な状態で推移しました。

: 九重山、雲仙岳(火山活動度レベル 1)
火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 35 号	2 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割。湯だまり温度は高い状態が続く。湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出を観測。孤立型微動は日に 27～65 回で推移し、火山性連続微動は継続。
	火山観測情報第 36 号	9 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割。湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出を観測。孤立型微動は日に 23～52 回で推移し、火山性連続微動は継続。
	火山観測情報第 37 号	16 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割。湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出を観測。孤立型微動は日に 45～128 回で推移し、火山性連続微動は継続。
	火山観測情報第 38 号	23 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割。湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出を観測。孤立型微動はやや多く、日に 63～166 回で推移し、火山性連続微動は継続。
	火山観測情報第 39 号	30 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割。湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出を観測。孤立型微動は日に 51～130 回で推移し、火山性連続微動は継続。

次回の火山活動解説資料の公表は 9 月 7 日(火)の予定です。

各火山の詳細については、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)でご覧いただけます。

気象庁 HP 「気象・海洋・地震・火山の資料」 「火山の資料」 定期刊行物「火山活動解説資料」

(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)